

# 子どもの貧困に関する支援者アンケート調査票

## ご記入にあたって

1. 貴職、貴機関・団体が、日頃の活動の中で把握している、生活困窮家庭と思われる（世帯収入の把握の有無は問いません。）子どもと保護者の状況や課題、関わり等について、ご記入ください。
2. 本調査での「生活困窮家庭」とは  
18歳未満の子どものいる家庭のうち、経済的理由により、子どもが夕飯を食べられていない、新しい服を買えない、行事に参加できない等、一般的な子育て家庭が子どもに経験させられることを、経験させられない状況にある家庭等を言うこととします。
3. 記述式回答が多くなっております。お手数をおかけして大変申し訳ございませんがご協力くださるようお願いいたします。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

久喜市 子育て支援課 子育て支援係

電話：0480-22-1111（内線 3283）FAX：0480-22-3319

住所：久喜市下早見85-3

### ◆アンケート回答者情報

機関・団体または 職種の名称			
アンケート 回答者名		連絡先	( )
業務・活動概要			

問1-1 貴職、貴機関・団体の日頃の活動の中で、生活困窮家庭と思われる世帯の子どもや保護者に接する機会がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1 ある ⇒ **問 1-2 へ**

2 特にない ⇒ **問 5 へ**

(問 1-1 で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます)

問1-2 生活困窮家庭と思われる子どもや保護者等においては、具体的にどのような困難な状況や特徴、抱えている課題が見られますか。下記の例を参考に、個人を特定できない範囲でご記入ください。

(1)子どもの状況や特徴、抱えている課題について

内容例：孤食等家庭での様子、日常生活習慣、服装、放課後の過ごし方、居場所、学習意欲、行事に参加できない等

(2)保護者の状況や特徴、抱えている課題について

内容例：子どもとの関わり方、家庭での生活、暮らし向きや心身の状況、就労状況、他者との関わり等

問 2-1 貴職、貴機関・団体では、生活困窮家庭と思われる子どもや保護者等に対して、何らかの関わりや支援(相談対応、他機関へのつなぎ含む)を行っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1 している ⇒ **問 2-2 へ**

2 特にしていない ⇒ **問 5 へ**

(問 2-1 で「1 している」に○をつけた方にうかがいます)

問 2-2 現在、どのような関わり方や支援を行っていますか。具体的に、ご記入ください。

内容例：相談対応、家庭訪問、居場所づくり、学習支援、就労支援、経済的支援、食事支援、事業開催、制度の案内、関係機関の紹介等

問 3-1 生活困窮家庭と思われる子どもや保護者等への関わりや支援を進める中で、他の機関等と連携(相談、つなぎを含む)することがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1 連携することがある ⇒ **問 3-2 へ**

2 特に連携はしていない ⇒ **問 4-1 へ**

(問 3-1 で「1 連携することがある」に○をつけた方にうかがいます)

問 3-2 現在、どのような機関等と、どのように連携することがありますか。具体的に、ご記入ください。

問 4-1 生活困窮家庭と思われる子どもや保護者等への関わりや支援を行う中で、貴職、貴機関・団体が困っていることや課題がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1 ある ⇒ **問 4-2 へ**

2 特にない ⇒ **問 5 へ**

(問 4-1 で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます)

問 4-2 関わりや支援を行う中で困っていることや課題は、どのようなことですか。具体的にご記入ください。

(全員の方にうかがいます)

問 5 生活困窮世帯と思われる子どもや保護者等が直面している困難な状況や抱えている課題に対して、どのような支援が必要・重要だとお考えですか。具体的にご記入ください。

項目例：子どもへの支援、保護者への支援、関係機関との連携等

内容例：相談対応、食事支援、学習支援、就労支援、経済的支援、居場所づくり、関係機関との連携等

項目例：子どもへの支援、保護者への支援、関係機関との連携等

内容例：相談対応、食事支援、学習支援、就労支援、経済的支援、居場所づくり、関係機関との連携等

問6 子どもの貧困やその対策等について、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。